

パブリックコメント実施結果報告書

平成27年2月26日

担当課	福祉保健部福祉保健課
担当者	岸田 賢
連絡先	0857-26-7142

意見公募のテーマ： 子育て王国とっとり条例の一部改正について

①手段別意見応募件数

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等へ	その他の方法	計
()	()	1 (1)	6 (6)	()	7 (7)

②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した		
既に盛り込み済み		
今後の検討課題		
対応できない		
その他	7	<p>○子育て世代にとって大きな負担は保育料と子どもの医療費である。まず、保育料を第1子から無料にし、次に義務教育の間の子どもの医療費の無料化を目指すべき。</p> <p>○日本は欧米各国と比較しても教育にお金がかかりすぎる。ついては、給付型奨学金制度の拡大、就学支援金の充実、保育料、小児医療費等の負担軽減など諸施策の制定、実施を強く求める。</p> <p>○育英奨学事業の充実については、貸与型から給付型への移行をお願いしたい。</p> <p>○育英奨学事業を貸与型から給付型へと発展させていくべきであるが、無条件でなく、生徒が前向きに学校生活に望み、努力を継続しているかどうかを確認しながら進めるべきである。</p> <p>○奨学金は貸与型から給付型へ転換すべき。</p> <p>○鳥取県の育英奨学事業を貸与型から給付型への転換、併せて、高等学校定時制通信制課程の修学奨励金の対象人数の大幅な増員を求める。</p> <p>○共働きの多い本県において、両親とも勤務時間が長く、帰宅が遅いことが子育てにとってのネックとなっている。まずは公務員からでも取組を進めるべき。特に、小中学校の教員の帰宅が遅く、寝る時間を削って仕事をせねばならない実態では子どもは増えない。</p>
計	7	

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

他の公表方法として該当するものに○を付けてください。

とりネット (実施担当課)	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
○		○	○		